

TREVISO
BAGNO NUOVO



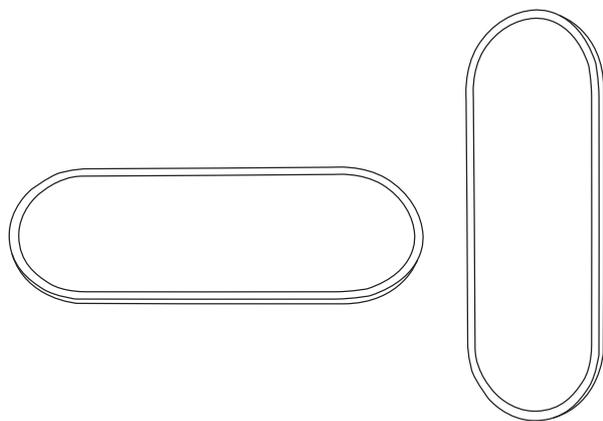
このたびは洗面化粧台をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

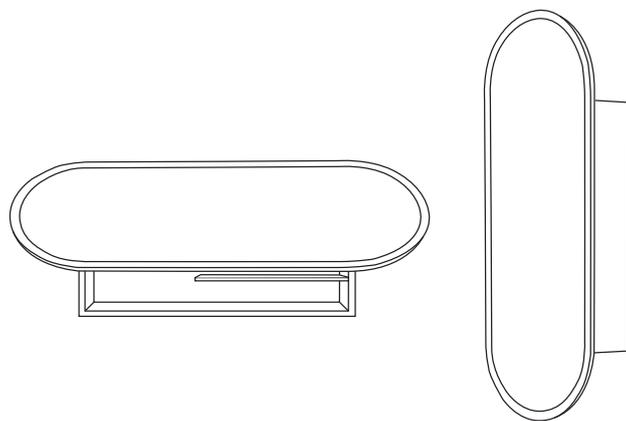
各部のなまえ	2
1. 安全上のご注意	3
2. 洗面カウンター・ボウル	4~5
3. キャビネット(ベースキャビネット・サイドキャビネット)	6~7
4. ベースシェルフ	8~9
5. ミラー、ミラーキャビネット	10
6. 調整方法	11~13
7. こんなときには?!	14
8. 保証書	15

各部のなまえ

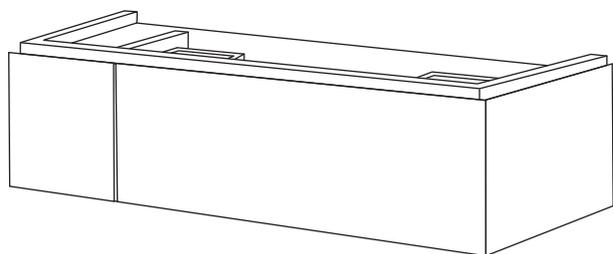
■ミラー(収納なし)



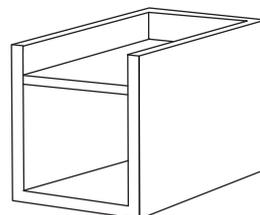
■ミラーキャビネット(収納付き)



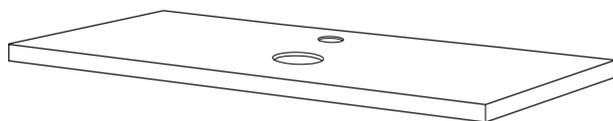
■ベースキャビネット



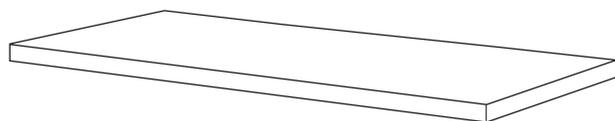
■サイドキャビネット



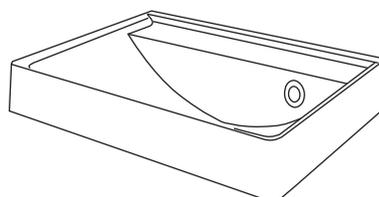
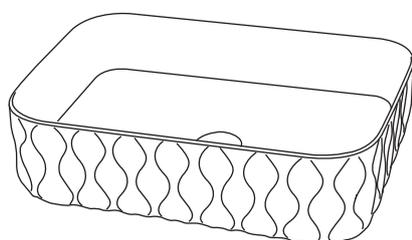
■カウンター
(キャビネットタイプ・オープンタイプ)



■ベースシェルフ



■ボウル



1. 安全上のご注意 [必ずお守りください]

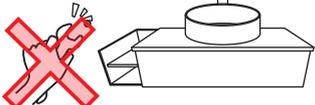
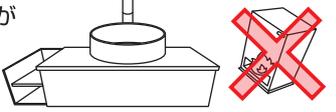
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

 警告 <p>この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。</p>	 注意 <p>この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。</p>
--	--

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

 <p>この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。</p>	 <p>この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。</p>
--	--

警告

 <p>絶対に分解・修理は行わないでください。 ケガや故障、事故の原因となります。 修理は購入店へご相談ください。</p> 	 <p>組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守ってください。</p> <p>使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。</p>
 <p>ストーブやヒーター等の熱源を近くに置いて使わないでください。 火災や変色・変形の恐れがあります。</p> 	 <p>洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。</p> <p>使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり製品本体や機器が傷み、水漏れ事故や、故障の原因となる場合があります。</p> 

注意

 <p>●自家用井戸水での使用はしないでください。 井戸水成分による製品損傷で漏水の危険性があります。</p> <p>●車両、船舶での使用はしないでください。 製品の故障だけでなく、漏電、漏水などの危険性があります。</p> 	 <p>商品のガタつきや破損、故障が起きた場合は、すぐに使用を中止し、修理を依頼してください。</p> <p>※使用を続けると、より大きな損害やケガの恐れがあります。 ※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中の際に必ずスイッチを切り電源プラグを抜いてください。</p>
--	--

2. 洗面カウンター・ボウル

使用上の注意



排水セットに衝撃を与えないでください。

変形・破損、水もれの原因となります。
※ジャバラ排水ホースに当たると、箱下の防臭キャップが抜け水気によるくされ、悪臭の原因となります。



防臭キャップは取らないでください。

害虫の侵入や悪臭の原因になります。
掃除をするとき以外は正しく取り付けておいてください。
※立ち上がり配水管に押し付けて固定してください。



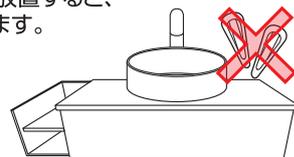
固形または粉末の塩素系洗剤または薬品等を使ったり、近づけたりしないでください。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し漏水の原因となります。
誤って使用したときは、すぐに水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きしてください。



鉄製の物を放置しないでください。

ヘアピンや鉄製品を長時間放置すると、サビが付着(もらいサビ)します。



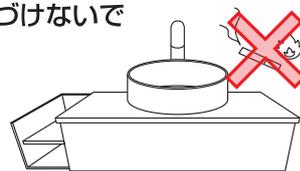
汚れはすぐ洗い流してください。

放置すると汚れが落ちにくくなり、サビや変色の原因になります。
また、たまった水はよく拭き取ってください。



火のついた物(タバコ、マッチ等)や熱いものを置いたり近づけないでください。

焦げあとが付く恐れがあります。



洗面カウンター、洗面ボウルの上に乗ったり、過度にもたれかかったり、衝撃を与えないでください。

変形や破損でケガをする恐れがあります。
また、転倒して、ケガをする恐れがあります。



洗面ボウルにかたい物を落とさない、ぶつけないでください。

キズがついたり、破損したり、ケガをする恐れがあります。
化粧ピン等は注意してください。



アート陶器洗面ボウルについて

- 繊細な装飾が施されているため、汚れを長時間放置せず、日常的に優しく清掃してください。
- 強い洗剤や研磨剤の使用、衝撃を与えたり、熱湯をかけることは絶対におやめください。
- 素材の性質上、表記寸法に若干の誤差が生じる場合があります。



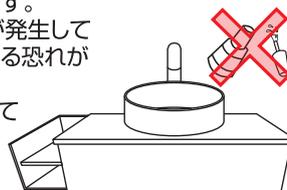
洗面ボウルが冷えているときに直接熱湯をかけないでください。

急激な温度変化でボウルが割れることがあります。
必ず水をためてから注いでください。



マニキュア液、除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤などが付着したまま放置しないでください。

化粧品や洗剤の中に製品本体や樹脂(プラスチック)に悪影響を与えるものもあります。
放置するとひび割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。
付着した際はすぐに拭き取ってください。



熱い物を流さないでください。

高温のお湯など直接洗面ボウルに流すと、変形・破損、水漏れの原因となります。

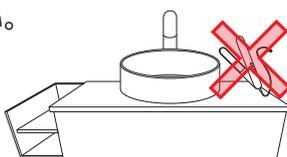


塩素系洗剤によるつけおき洗いは洗面ボウルで直接行わず、風呂桶やバケツなどを使用してください。
また、排水口に流したらその後、水を流して洗面ボウルや配管の洗剤を流しきってください。
洗面ボウルや配水管を痛め、水漏れの原因となります。



カウンターの表面にドライヤーの熱を直接あてたり、ヘアアイロンなど通電したままや使用後、高温状態でカウンターに直接置かないでください。

変色や変形の原因となります。



排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さないでください。

※排水部材が破裂し、溢水する恐れがあります。

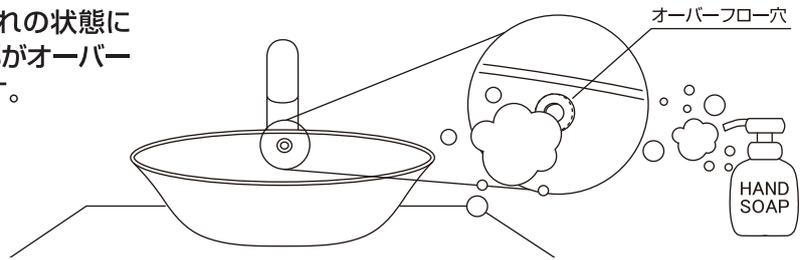


2. 洗面カウンター・ボウル

使用上の注意

洗剤の種類や大量に泡を流した場合、泡切れの状態によっては泡がスムーズに排出されずその一部がオーバーフロー穴まで上がり、出てくる場合があります。

洗面台(洗面ボウル)の異常ではありませんので、泡を流してそのままお使いください。



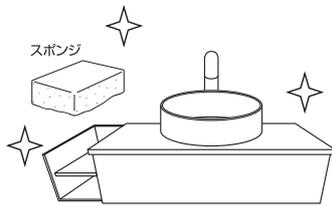
お手入れ方法

●1日の終わりには…

水拭きをしてから、乾拭きをしてください。

●週に1度は…

中性用洗剤をスポンジにつけて汚れを落としてください。水拭きでしっかり洗剤を取り除き、乾拭きをしてください。



●排水の流れが悪い…

市販のパイプクリーナーをご使用ください。その際はパイプクリーナーの使用法をよく読んでから使用してください。

ステンレス部品にはパイプクリーナーを付着させないでください。付着するとサビの原因になりますので付着した場合は、すぐに水洗いして、拭き取ってください。

また、パイプ部分にパイプクリーナーを付着させたままにしないでください。



●汚れが目立つ…

スポンジに中性用洗剤をつけて、ていねいに汚れを拭き取ってください。

落ちにくい場合はクリームクレンザーを使い、円を描くようにやさしく拭き取り、水拭きをしてから乾拭きをしてください。



●ヌメリが気になる…

スポンジや歯ブラシにクリームクレンザーを付けて、ヌメリを落としてください。

その後、水でよく洗い流してください。



警告



水栓金具については、取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守ってください。使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



お手入れ上の注意



塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わないでください。

サビの原因となります。また、アセトン、シンナーなどの溶剤も絶対に使用しないでください。変色・変質、破損する恐れがあります。



金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しないでください。

キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。

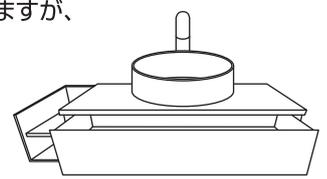


3. キャビネット(ベースキャビネット・サイドキャビネット)

※引き出しの調整方法については11ページをご参照下さい。

天然木・突板の取扱いについて

天然木突板は異なる木目や色合いを持つため、色むらや節目、木目の違いが生じる場合がありますが、これは天然木の特性です。
長時間の水の付着や熱いものを直接置いたりしないでください。
シミ、膨張、変色や焦げの原因となります。
何か付着した際には、速やかに柔らかい布で拭いてください。
キズがつきやすいので取扱いには十分注意してください。

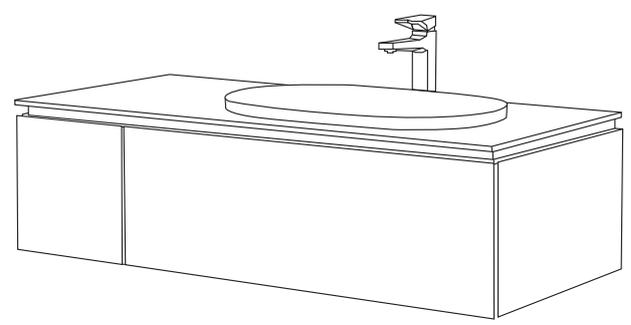


使用上の注意

重量規定を守ってご使用ください。製品の耐荷重は均等荷重です。
重い物を載せすぎたり、1ヶ所に集中して置かないでください。変形したり破損によりケガをする恐れがあります。

■ベースキャビネット

耐荷重25kg
ベースキャビネット、カウンターには、人が乗ったり重い物を乗せたり、人から強い衝撃を与えたりしないでください。破損や事故の原因となる場合があります。



引き出しを大きく開けすぎないでください。
※引き出しが外れてケガをする恐れがあります。
引き出しの隙間に指を入れたり、レールやヒンジの可動部を触ったりしないでください。
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時には特にご注意ください。

引き出しの開閉に注意してください。
ヒンジや引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。ケガやキズがつく恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。

引き出しに乗らないでください。
引き出しに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。ヒンジやレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。

重い物を載せないでください。
変形や破損の原因となります。

転がりやすい物を置いたり、不安定な積み方をしないでください。
収納物が転がり落ちてケガをしたり、カウンターが破損する原因となります。

排水トラップ前に大きな物を収納しないでください。
引き出しを閉めたときに排水トラップにぶつかり、キズが付いて水漏れする恐れがあります。突起物のある物の収納にはご注意ください。大きなもの

キャビネットの下にもぐりこまないでください。
キャビネットに接触し、ケガをする恐れがあります。

収納物が入ったまま引き出しを外さないでください。
収納物が落下してケガをする恐れがあります。

3. キャビネット(ベースキャビネット・サイドキャビネット)

使用上の注意



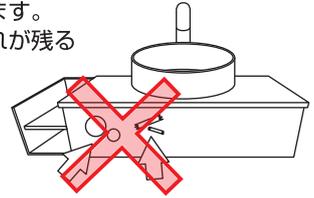
ぬれたり汚れたままにしないでください。

ぬれたままでは、表面材がはがれたり、引き出しが膨れたりする原因となります。また、汚れたままではシミなどの原因となります。すぐにしっかりと拭き取ってください。



シールやテープ類を貼らないでください。

粘着剤で表面が侵されます。また、はがした後、汚れが残る恐れがあります。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

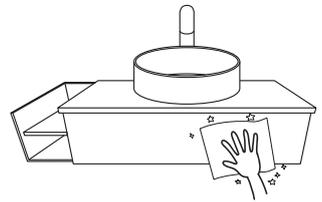
柔らかい布で乾拭きをしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きをしてください。

しつこい汚れは…

薄めた台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

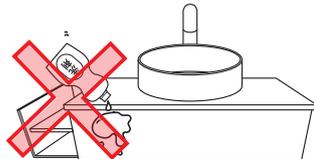


お手入れ上の注意



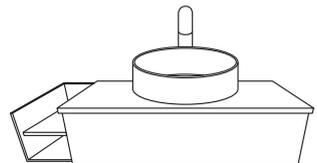
洗剤を拭き残さないでください。

洗剤が引き出しに付着したまま放置されると、表面がはがれたり、引き出しが膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。



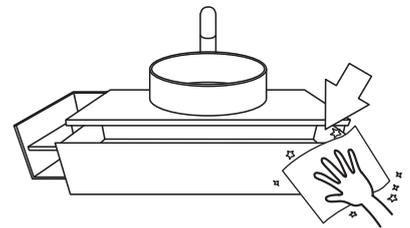
塩素系洗剤・漂白剤・溶剤などを使わないでください。

変色や光沢をなくしたり表面を傷つけます。



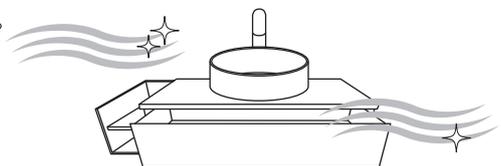
● 中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。

● 薄めた台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。



湿気・臭気対策

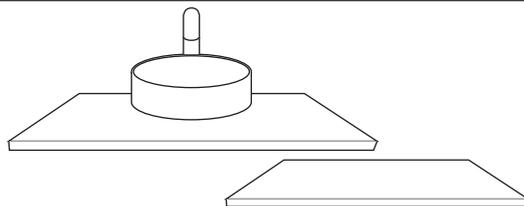
湿気がこもりやすい場所なので、時々引き出しを開けて、換気をよくしましょう。



4. ベースシェルフ

天然木・突板の取扱いについて

天然木突板は異なる木目や色合いを持つため、色むらや節目、木目の違いが生じる場合がありますが、これは天然木の特性です。長時間の水の付着や熱いものを直接置いたりしないでください。シミ、膨張、変色や焦げの原因となります。何か付着した際には、速やかに柔らかい布で拭いてください。キズがつきやすいので取扱いには十分ご注意ください。



使用上の注意

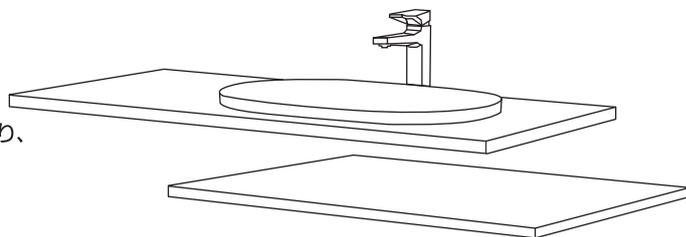
重量規定を守ってご使用ください。製品の耐荷重は均等荷重です。

重い物を載せすぎたり、1ヶ所に集中して置かないでください。変形したり破損によりケガをする恐れがあります。

■ベースシェルフ

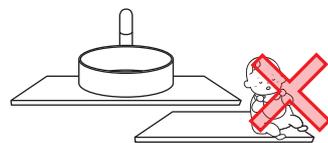
⊘ 耐荷重25kg

ベースシェルフには、人が乗ったり重い物を乗せたり、人から強い衝撃を与えたりしないでください。破損や事故の原因となる場合があります。



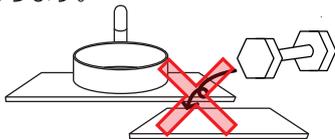
⊘ シェルフに乗らないでください。

シェルフに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。金物がこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



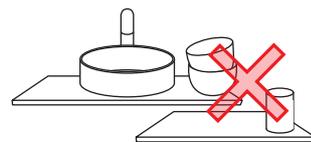
⊘ 重い物を載せないでください。

変形や破損の原因となります。



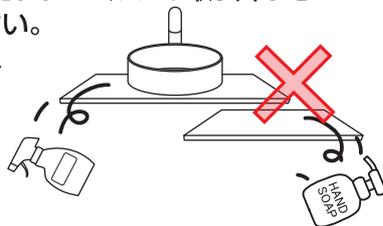
⊘ 転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしないでください。

収納物が転がり落ちてケガをしたり、シェルフが破損する原因となります。



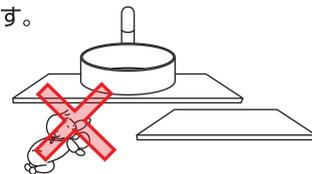
⊘ 収納物を置いたままシェルフの取り外しをしないでください。

収納物が落下してケガをする恐れがあります。



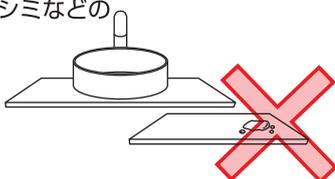
⊘ シェルフの下にもぐりこまないでください。

シェルフに接触し、ケガをする恐れがあります。



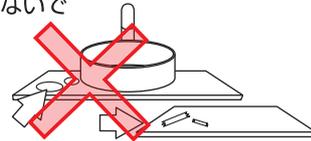
⊘ ぬれたり汚れたままにしないでください。

ぬれたままでは、表面材がはがれたり、シェルフが膨れたりする原因となります。また、汚れたままではシミなどの原因となります。すぐにしっかりと拭き取ってください。



⊘ シールやテープ類を貼らないでください。

粘着剤で表面が侵されます。また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。



4. ベースシェルフ

お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きをしてください。

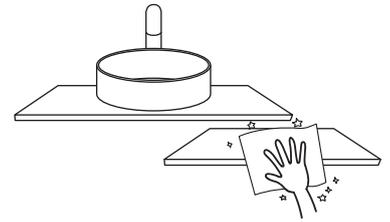
汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きをしてください。

しつこい汚れは…

薄めた台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。

その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

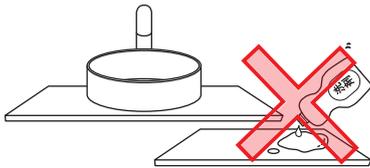


お手入れ上の注意



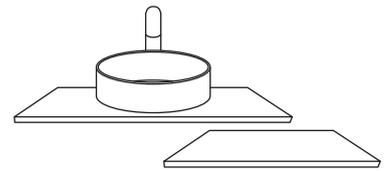
洗剤を拭き残さないでください。

洗剤がシェルフに付着したまま放置されると、表面がはがれたり、膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

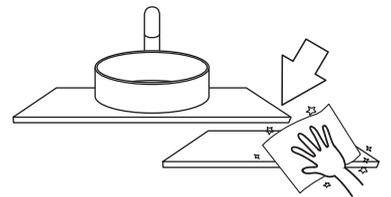


塩素系洗剤・漂白剤・溶剤などを使わないでください。

変色や光沢をなくしたり表面を傷つけます。

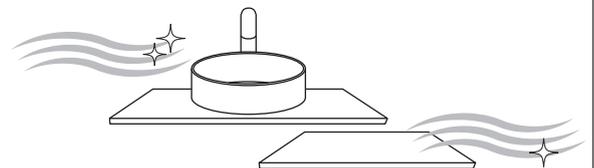


- 収納物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
- 薄めた台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。



湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、換気をよくしましょう。



5. ミラー、ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの調整方法については12,13ページをご参照下さい。

警告

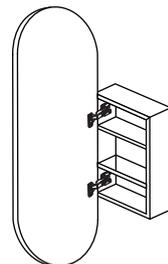
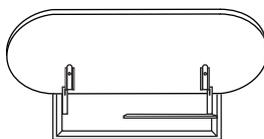
! 組まれる機器については、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守ってください。使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

使用上の注意

■ミラーキャビネット

棚一枚当たり耐荷重2kg

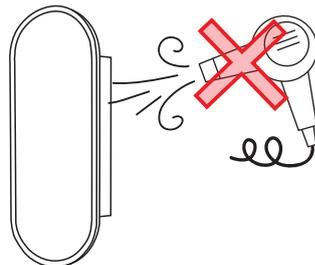
重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。



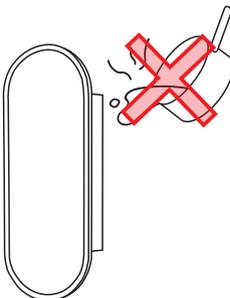
! 棚から物を落とさないでください。ケガや事故、破損の原因になります。



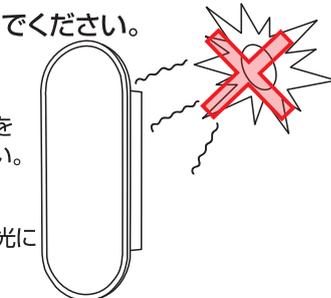
! 熱湯、ドライヤーの熱風等を直接触れさせたり、当てたりしないでください。変形の原因になります。



! ミラーに冷水、熱湯等をかけないでください。水滴は必ず拭きとってください。サビが発生する可能性があります。



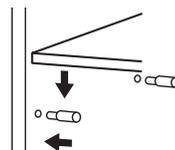
! 直射日光を当てないでください。必ずカーテン等で遮ってください。また、スポット照明等を直接当てないでください。変色や変形の恐れがあります。拡大鏡、眼鏡等を直接日光に当てないでください。



! マニキュア液、除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤などが付着したまま放置しないでください。化粧品や除光液、毛染め液、髪の毛の脱色剤、ホームパーマ剤が付着した場合はすばやくきれいに拭き取ってください。変色や変形、劣化する恐れがあります。(除光液等の溶剤が付着しますと跡が残ることがあります。)



! 可動棚板は確実に取り付けてください。可動棚板をセットする際には、図の「棚受けダボ」を本体側板の穴にねじ込み、確実に固定してください。「棚受けダボ」を穴にしっかりねじ込まずに棚板をセットすると落下・破損等によるケガの恐れがあり危険です。



6. 調整方法(ベースキャビネット・サイドキャビネット)

調整上の注意

⚠ 注意

取り付ける時



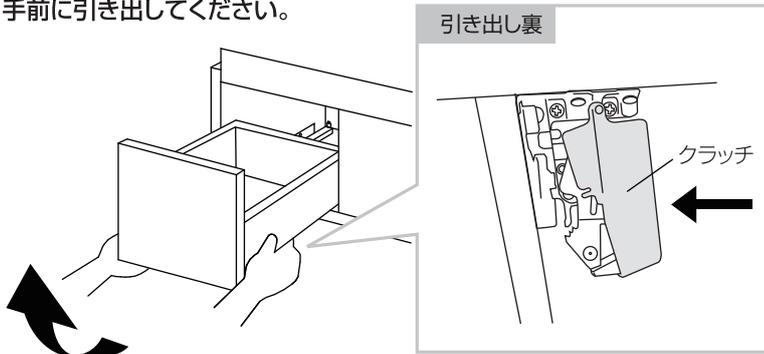
引き出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。

※正確に取り付けられていないと、引き出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

引き出しの調整方法

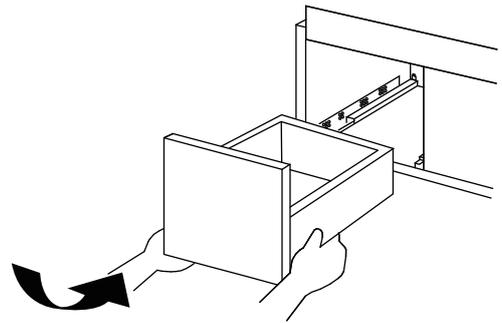
外し方

引き出しをストッパーに当たるまで引き、底板の下部にあるクラッチをにぎり引き出しを持ち上げるように引き上げ手前に引き出してください。



取り付け方

レールの上に引き出しを正しく乗せて入れてください。(カチャという音がします)引き出して、ストッパーがかかることを確認してください。



6. 調整方法(縦型ミラーキャビネット)

調整上の注意

⚠ 注意

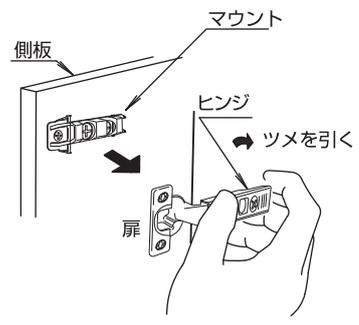


- 調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
- 調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

扉の調整方法

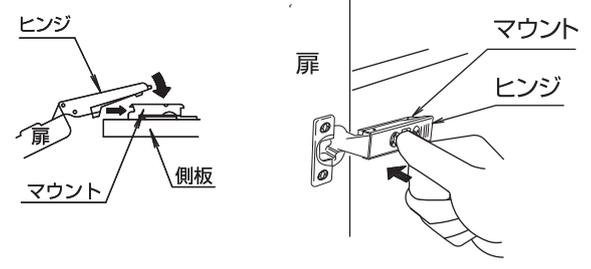
扉の外し方

扉をしっかり支えながら
ヒンジの後側のツメを
引いてください。
扉が外れます。



扉の取り付け方

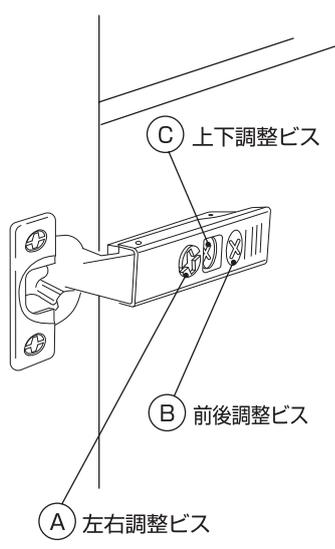
ヒンジをマウントの手前に引っかけ、
後側を押し込んでください。



扉の調整

扉に段違いが生じたり、
ガタついたら、図の要領で
扉の調整を行ってください。

●扉の段違いの調整



扉の前後調整

扉を取り付けた後ビス②を
緩めて前後調整をし、締め
なおします。

扉の左右調整

ビス②を締めたままビス①
を回して左右調整をします。

扉の上下調整

ビス③を緩めて扉ごと上下
調整したあと、締めなおし
ます。

6. 調整方法(横型ミラーキャビネット)

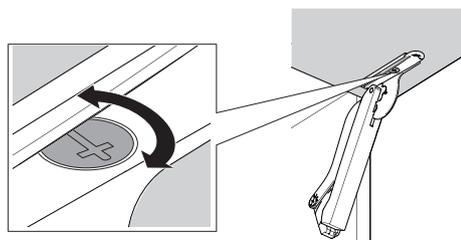
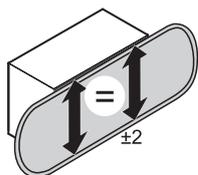
扉の調整方法(フラップアップ)

扉の調整

●扉の段違いの調整

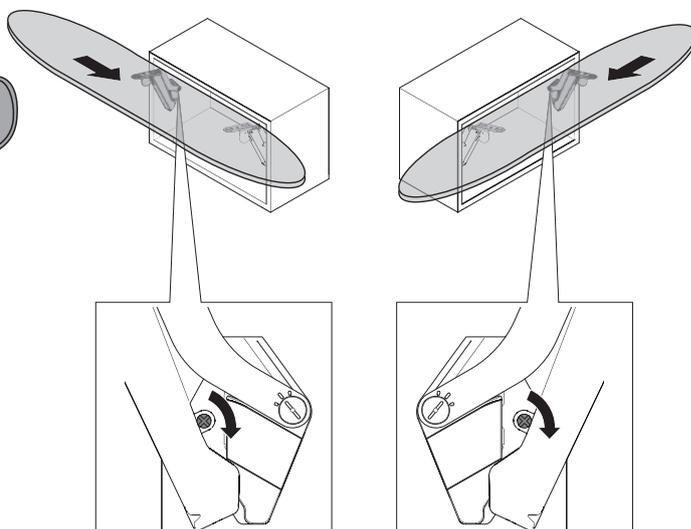
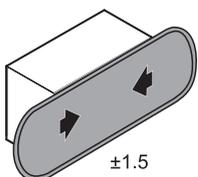
※電動ドライバーは使用しないでください。

扉の上下調整



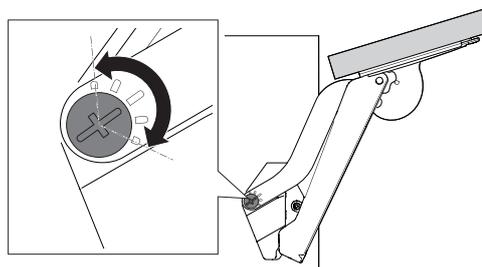
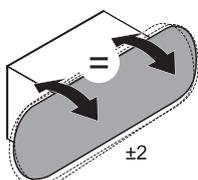
上下調整ネジを回して扉の高さを調整してください。キャビネットとの隙間を均等にし、キャビネットと水平になるように合わせてください。

扉の左右調整



左右調整ネジを回して扉の位置を調整してください。

扉の前後調整



前後調整ネジを回して扉の位置を調整してください。閉じた際に段差が生じないようにしてください。

7. こんなときには?!

電源が接続されていなかったり水道の止水栓が締まっていると、洗面化粧台の故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
お湯の出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓が締められている。 ● 吐水口に水垢がたまっている。 ● 水圧が低い。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓を全開にしてください。 ● 吐水口を掃除してください。 ● 止水栓で調整してください。
水漏れがする	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓の締め付け不足。 ● 止水栓のパッキン不良。 ● 水栓金具の取付けナットの緩み。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分に締めてください。 ● パッキンを交換してください。 ● 取り付けナットを締めてください。
下水の臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ● トラップの封水不良。 ● 防臭キャップ不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ● トラップ部の防臭トラップを点検してください。 ● 防臭キャップを点検してください。

8. 保証書

保 証 書	
品 名	品 番
★お客様のお名前	
様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ※引き渡し日 年 月 日から <div style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">1年間</div> (ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。)	取り扱い販売店名、住所、電話番号
<p>*印、※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。</p> <h2 style="text-align: center;">記</h2> <p>この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 引き渡し日から上記保証期間中に、対象製品において取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意内容に従い、使用及び維持管理を行っていた状態で自然不具合が発生した場合、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合 2. 車両・船舶、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合 3. 当社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合 4. 使用上の不注意・故意・過失または不当な修理や改造による不具合 5. 使用者または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合 6. 建築躯体、関連設備工事など製品以外の不具合に起因する不具合 7. 経年変化または使用に伴う磨耗、さび、かび、変質、変色、反りなどの不具合。 8. 消耗部品(パッキンやシーリングなど)の取り替え及び保守 9. 指定外の消耗品の設置または使用に起因する故障及び損傷 10. 漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置された場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合 11. 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合 12. 納入後、1年以上経過した場合の虫害 13. 火災・爆発などの事故、落雷・凍結・地震・噴火・洪水・津波などの天災地変及び公害、塩害、ガス害、異状電圧、使用電源(電圧、周波数)などによる不具合 14. 修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、不具合の存在を確認できなかった場合 15. 部品交換を伴わない調整、その他手直し修理、保守、点検、検査、作業 16. 製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合 17. 取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合 18. 取り付け後の移設等に起因する故障及び損傷 19. 砂やごみかみによる不具合及びパッキン・シーリング等消耗品の損傷 20. その他、当該不具合の発生が当社の責によらない場合 ●離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張を要する実費を申し受けます。 ●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。 ●本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan ●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。 ●洗面台に組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。 <p>●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げいただいた販売店にお問い合わせください。</p>	

